

47. ものが語る歴史 8 井戸の考古学

鐘方正樹著

同成社 (2003)

A5 版

定価 3,700 円



目 次

第1章 井戸の各部名称と付帯施設

- ・井戸側・井戸枠と井桁・井筒
- ・井桁・井筒
- ・井戸底の施設
- ・釣瓶
- ・井屋、排水施設
- ・掘形

第2章 井戸の構造と分類

- ・素材と形状
- ・構築方法
- ・木工技術の用語
- ・井戸の類型

第3章 井戸枠構築技術の系譜と校倉造り

- ・積上げ式の横板組型と校倉造り
- ・中国における井戸枠の構築技術
- ・朝鮮半島における井戸枠の構造と校倉造り
- ・校倉の源流

第4章 井戸枠部材の打刻印と木材生産

- ・打刻印認識の契機
- ・木材の打刻印例
- ・打刻印の機能と木材生産体制

第5章 野井戸掘削の背景

- ・野井戸に関する従来の見解
- ・奈良市内の野井戸の調査例
- ・大坂平野の野井戸
- ・都市の井戸との比較
- ・野井戸出現の背景

第6章 井戸の祭祀

- ・井戸に関わる神
- ・井戸祭祀の検討

地下水ブックガイド

- ・井戸祭祀の思想的背景

第7章 井戸の歴史的展開とその背景

- ・縄文時代の水場
 - ・井戸掘削の契機
 - ・弥生～古墳時代の井戸
 - ・古代の井戸
 - ・中世の井戸《12～16世紀》
 - ・近世の井戸《17～19世紀》
 - ・近代の井戸
 - ・東アジアからみた井戸枠の展開
 - ・井戸の技術的発展論に関する再検討
 - ・井戸の公共性
-

紹介コメント

竹制作時からすでに土中にある井戸は、それゆえに考古学の宝庫であり、過去と現在をつなぐタイムトンネルともいえよう。原始から近代まで連綿と利用されてきた列島各地の井戸が人間の生活にいかに関わったかを建築技術的・構造的視角から分析し、東アジア的広がりの中でその展開を追究する。